

# 令和2年度事務事業点検の結果について

## 1 実施目的

少子高齢化等社会情勢の変化への対応や、市民ニーズに沿った新規事業を実施するためには、財源が必要となりますが、予算編成・実施計画策定においては、毎年度財源を大幅に超えた歳出予算要求が行われています。そのような中で、新規事業を実施するためには、既存事業の改廃、いわゆるスクラップ&ビルドが不可欠となっています。そこで、平成30年度より事業費を伴う政策的な事業を対象とした「事務事業点検」を行うこととしております。

## 2 対象事業

令和2年度は、事業費予算を伴う政策的な事務事業の17事業を対象とし、廃止・見直し・縮小等を判断しました。

## 3 見直しの手法

事務事業ごとに「事業の必要性」と「改善の必要性」について、あらゆる切り口で検証・点検を行いました。

## 4 これまでの事務の流れ

令和2年3月19日～令和2年3月31日	1次点検（各課評価シートの作成）
令和2年7月13日～令和2年8月7日	2次点検（対象：担当課長）
令和2年8月20日～令和2年8月31日	3次点検（対象：担当部長）

## 5 点検結果の反映

事務事業点検の結果については、実施計画及び予算に反映させています。

## 6 点検結果

点検総数 17事業

点検区分	事業数	備考
廃止	0	今回の点検結果を契機として、廃止に向けて取り組んでいく事業
見直し	9	今回の点検結果を契機として、事業の見直しを検討していく事業
縮小	3	今回の点検結果を契機として、事業の縮小を図っていく事業
現状維持	5	点検の結果、現状維持となった事業
計	17	

## 7 効果額

年度	効果額（千円）
R3年度	約10,022
R4年度～R7年度	約490,088
計	約500,110

※R4年度～R7年度は見込額

8 点検結果の概要（主な廃止・見直し・縮小事業）

【見直しと判断した事業】

科目（事業）名称 （カッコ内は見直し目標年度）		取組方針	効果額（単位：千円）		
			計	（R3）	（R4-R7）
職員提案制度	（R3）	行政改革プロジェクトを設置し、業務改善及びDX化等に取り組む。	110	22	88
徘徊高齢者等位置情報サービス	（R4）	福祉課及び長寿介護課で足並みを揃えて利用者の実情に合わせた新しい手法を検討する。	—	—	—
知立まちづくり株式会社運営費補助事業	（R3）	サテライトキャンパスの誘致等、市の補助金に頼らない自立した経営を支援する。	—	—	—
耐震改修事業	（R3）	多世代住宅支援補助や、一時的な支出費用を抑えることができる「代理受領制度」の導入を検討する。	—	—	—
公共ます設置工事の市負担	（R4）	「受益者負担金一括納入報奨金」等の廃止に加え「公共ます設置工事の市負担」を廃止し、「公共下水道接続補助事業」へと移行する。	—	—	—
見直し 計			110	22	88

【縮小と判断した事業】

科目（事業）名称 （カッコ内は縮小目標予定年度）		取組方針	効果額（単位：千円）		
			計	（R3）	（R4-R7）
市遺児手当	（R4）	R3年中に検討委員会を立ち上げ、R4年10月から所得制限等、手当の在り方を検討していく。	—	—	—
国民健康保険事業への繰出基準	—	低所得者対策（独自軽減分）は当面基金を充当する。	約50,000	約10,000	約40,000
下水道事業への繰出金	（R5）	経営戦略を策定して企業会計の財政健全化を図り、R5年度からの営業収益の増加等を目指す。	約450,000	0	約450,000
縮小 計			約500,000	約10,000	約490,000